

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会議名	第1回姫路市スポーツ推進計画検討懇話会
2 開催日時	平成26年11月5日(水曜日) 午後2時～午後3時56分
3 開催場所	姫路市役所10階 第4会議室
4 出席者又は欠席者名	別紙1の通り。尼子委員欠席
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人なし
6 議題又は案件及び結論等	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 委員紹介3 会長選出4 説明・審議5 閉会
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙2参照

姫路市スポーツ推進計画検討懇話会委員名簿

(50音順、敬称略)

区 分	氏 名	肩書き等
会長	末井 健作	兵庫県立大学名誉教授
委員 ※欠席	朝田 眞司	姫路市小学校体育連盟副会長
	尼子 尚公	姫路市中学校体育連盟副会長
	沖 智美	公募市民
	小田 美佐子	姫路市立幼稚園推進連盟会長
	小林 弘子	特定非営利活動法人 姫路市身体障害者福祉協会 副理事長
	生田 義孝	兵庫県高等学校体育連盟西播支部理事長
	高寄 俊秀	姫路市体育協会副会長
	西本 眞造	姫路市議会厚生委員会委員長
	平井 康允	姫路市スポーツ推進委員会会長
	南 良樹	公募市民
	吉田 裕康	姫路商工会議所専務理事

別紙 2

事務局	<p>1 開会 (14:00)</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 会長選出 事務局提案により、末井委員を会長に選出</p> <p>4 説明・審議</p> <p>(1) 計画策定の趣旨</p> <p>(2) 策定の手法・スケジュール</p> <p>(3) 姫路市の現状 ～ 運動・スポーツに関するアンケート調査より</p> <p>(4) 「スポーツの推進について」各委員の意見</p>
会長	<p>委員皆様のご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>「スポーツもしくはボランティアをしない」と答えた方が、どのようなスポーツに興味を持っているかクロス分析等してみては。</p> <p>スポーツをしていない方をどう取り込んでいくか、取り組みが必要では。</p>
委員	<p>スポーツしたい人が、簡単に情報を得られる方策を考えてほしい。</p>
委員	<p>小学校は部活がない。学校体育という観点で取り組んでいる。まず楽しませること、好きにさせることを重点に行っている。</p> <p>現在の教育は、「健やかな体を育む」ことより、心の教育、学力向上に注力しているように感じる。</p> <p>また、外の遊び場、友人と遊ぶ機会も減っており、学校体育の重要性は増している。</p>
委員	<p>高校は学校施設で運動している。県大会等は神戸の施設を使っている。運動公園整備の必要性を感じている。また、全国大会誘致の推進により住民の関心も高まるのでは。</p>

委員

日体協スポーツ指導者を経て、各地での体操指導、社員の健康づくりに携わった。国立スポーツ科学センターのスポーツ医学研究部にて、トップアスリートのリハビリや、ドーピング検査員として活動している。市内の人材活用も考えてみては。

委員

幼稚園は遊びを中心とした運動が中心。遊びの中から力をつけること、体の動かしかた、友人とのコミュニケーションを学ぶ。

遊び場の減少、ゲームの普及で、体を動かす機会が減っている。親子で体を動かす機会を作っていただけるとよい。

委員

プールでの歩行など、障害者、健常者が一緒に運動することが難しい場合がある。総合リハビリテーションセンターでスポーツに触れ、国体で金メダルを取る事もできた。この喜びを外に広げたいと考えている。

まずバリアフリーが大事。段差の解消、身障者用トイレの設置が必要。また、障害者をスポーツの場に連れ出すことが難しくなっている。結果、身体障害者福祉協会の加入者減、高齢化を招いている。

スポーツは心と体に大変良いが、市主催のジョイフルスポーツフェアへの参加者は年々減っている。一方で、グラウンドゴルフの参加者は増えており、多くの方を巻き込んでいきたい。スポーツクラブのグラウンドゴルフにも参加したが、今は障害者だけで行っている。

委員

姫路市には 35 団体の種目協会が存在し、それぞれに活動している。陸上は、協会加入者に限らず、教室や大会への参加を認めている。

高齢化の影響か、グラウンドゴルフ、スポーツダンス協会も姫路市体育協会に加盟した。もっと広めていけば。

遊び場所や、夜間照明が少ないのは事実である。職場で運動を勧めてもらえればなお良い。

委員

スポーツしている方の満足度の充実、高齢者の取り込みを考える必要がある。スポーツだけでなく、ボランティアも含め、体を動かすことを考えてみてはどうか。

委員

スポーツクラブ 21 で、親子体操講習を企画したが、参加者が集まらず中止した。もっと活用してほしい。

スポーツ推進委員、昔の体育指導委員の認知度が低い。ほとんどが奉仕活動であり、幼稚園児から高齢者までを対象に様々な事業を行っている。

スポーツ振興課、生きがい推進課で事業が重複しているものもある。それらの解消も必要。

スポーツ推進委員の選任に、連合自治会長の推薦が必要であることも問題。熱意ある推進委員も会長の推薦を得られず退任するケースが見受けられる。

スポーツクラブ 21 予算が、自治会に握られているとの話もある。認知度を上げることも必要では。

委員

書写でテニスをしている。県の「いつでも・誰でも・どこでも」という考えに賛同している。

現に友人、仲間との交流が減っている。現施設、公園、学校、スポーツクラブ 21 クラブハウスの活用を考えてみては。

スポーツクラブへの参加者が少ない。ドイツは3人に1人が参加している。ドイツとの違いを調べてみては。

委員

するスポーツは体力、健康増進、友人作りにとって重要で、力を注がれている。見る、支えるという観点も必要では。

来年開催される世界遺産姫路城マラソン、10月に行われた還暦軟式野球の全国大会等がこれにあたるのでは。

こういったイベントは、宿泊や飲食が発生し、地元経済にとっても大きなプラスになる。

また、姫路市にはプロスポーツがない。地域の活性化、住民の一体感が生まれるなど、幅広い観点から取り組んでいただきたい。

会長

現在、社会体育、学校体育の2本を柱としている。

社会体育は生涯スポーツ、競技スポーツがあり、健康増進を図るもの、子どもから高齢者、障害者も含めたものがある。

競技者スポーツは、姫路市から世界に通用する選手を育てることも一つの目標

	<p>となる。体育協会各種目団体の努力が必要であり、思いを持つことが大事。</p> <p>見る、する、支えるスポーツは、人の心に大きな影響を与える。トップ選手を育てることで、地元のまとまりと絆が生まれることにつながるのでは。</p> <p>学校体育という歴史ある制度と、スポーツクラブ 21 の整合性を地域とどのように進めるのか大きな課題である。</p> <p>過去に、スポーツしている方にアンケートをとったところ、子供の頃の体験が大きな影響を与えていることが判明した。小学校体育は素晴らしい制度である。</p> <p>学校体育、地域で行うスポーツクラブ、競技団体それぞれの組織をどうやってまとめるのか、大きな課題である。生涯現役という枠で考えるのもいいのではないか。</p> <p>また、指導者の問題がある。1964年以降、スポーツトレーナーからコーチ、指導者へと制度が変遷した。</p> <p>昭和36年に社会体育指導委員が作られ、姫路市に生活体育振興会という組織も設けられた。指導者制度のありかたをもっと考えてみては。</p> <p>また、障害者スポーツは重要な位置づけを持つ。広く多くの方に知ってもらうことが必要。人をどう集めるか、現状と今後のあり方について考えなければならない。</p>
委員	<p>最後に、施設については総合運動公園が必要ではないか。世界大会を開いてはどうか、障害者も使えるものにしてはどうか。</p>
委員	<p>地域の活性化、スポーツを通じた仲間づくりや地域の連携を諮ってみては。</p> <p>民間の力も使いながら発展していけたらいいのでは。</p>
委員	<p>公園をスポーツの場として、ランニング、ウォーキングができるものにすれば人が集まり、清掃も行われるのでは。</p>
事務局	<p>次回の日程、後日連絡</p> <p>5 閉会 (15:56)</p>